

文化記念公園内施設指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成 30 年 10 月 24 日（水） 14：10～16：25
- 2 場 所 北九州市役所 5 階 特別会議室 A
- 3 出席者 (検討会メンバー)
植田構成員、河邊構成員、寺崎構成員、南構成員、宮城構成員
(事務局)
市民文化スポーツ局 スポーツ振興課
スポーツ施設担当課長、担当係長、担当職員
- 4 会議内容
○応募団体（文化記念公園 S・F 共同事業体、九州林産株式会社）より提案概要に関してヒアリング。（提案書の内容につき説明）
○応募団体（文化記念公園 S・F 共同事業体、九州林産株式会社）との質疑応答。

●応募団体（文化記念公園 S・F 共同事業体）との質疑応答。

(構成員)

- ・直営でスポーツクラブの運営を行っているということだが、施設の管理においてそのノウハウがどのように活かしているか。

(応募団体)

- ・自主事業の種類に関して、今回の提案では、これまでの 16 事業に対して、大幅な増加となる 29 事業を提案している。この要因として、民間で培った人脈及び、プログラムを作成する能力がある。夕方以降に行う予定の水泳教室や管理棟で行う料理教室、エアロビクス教室、ヨガ教室等でそのノウハウを活かすつもりでいる。

(構成員)

- ・提案事業数のわりに、連携団体数が少ないように感じたが、ほかのクラブ等や地域の団体と連携するというよりは、元々あるノウハウを生かせる直営の事業が多いということではないか。

(応募団体)

- ・今回の提案に関しては、これまで通り、地域の方々が参加できるプログラムもあり、それに加える形で、例えば、公園のある小倉南区に在住のエアロビクスやヨガの講師と連携して教室を実施する予定である。

(構成員)

- ・水道料金削減の取り組みにおいてシビアな管理が必要との記載があるが、具体的にどのような管理を行っているのか。また、その説明の際の資料が、2008 年～2012 年の資料となっており、資料が少し古いように思えるが、近年は、どのような状況となっているか。

(応募団体)

- ・プールの水の再利用を行っている。50m プールで大会が開催される際は、プールを大会仕様にするため、通常よりも水位を上げる。その水位を、通常利用の水位に戻す際に、従来までは、排水としていたが、その水を 25m プールに移送し、再利用している。また、ろ過装置のろ材に堆積した汚れを除去する際にその水を再利用している。その他に、25m プールと 50m プールの水の汚れ方の違いを生かし、両者の水の相互交換をし、水質、および水位の管理を実施することで節水に努めている。資料が古い理由は、2012 年から、この節水を始めており、この節水をする前との比較ができるように作成したためである。

(構成員)

- ・水質の管理は、その都度、行っているのか。水質が衛生的であるかどうか、市民として気になる。

(応募団体)

- ・その都度、実施している。

(構成員)

- ・地下水の活用は考えたことはあるか。やはり、割高になるのか。

(応募団体)

- ・以前、市に提案したことはあるが、掘り出した地下水の水質がどの程度のものであるか等も含めて検討しなければならないため、現在は、活用していない。割高になるかどうかに関しては、長期で使えば、割高になることはない。井戸の掘削の見積は取っているので、今後、検討したい。

(構成員)

- ・HP 以外で、現在、どのような形で、どれくらいの頻度で広報活動を実施しているのか。

(応募団体)

- ・西部ガスは、「&and」(アンド)という情報誌を発行している。このフリーペーパーは年に 4 回発行している。その発行部数は 100 万部で、全国 1 の規模を誇っている。しかし、他の記事の掲載との兼ね合いで、毎回、掲載するのは難しく、2 年に 1 度程度の掲載となっている。来年度に掲載予定である。また、他のフリーペーパーや西部ガスの展示会でも情報発信を行う予定である。

(構成員)

- ・収支計画に広報費に関する記載がないが、お金をかけずにやれるという認識か。

(応募団体)

- ・そのとおりである。具体的に、西部ガス興商の直営店や他の指定管理施設と連携して広報をすることで、費用の低減に努めている。

(構成員)

- ・利用者の満足度に関して、老朽化以外の苦情はあるか。

(応募団体)

- ・過去 3 年間分のアンケートを見返したが、老朽化以外の苦情はなかったという認識である。独自のアンケートを取っており、年間で 800 ほどの回答を得ているが、利用者満足度に関しては、平均して 92%以上になっている。

(構成員)

- ・プールの券売機とロッカーをリースするという提案だが、今までは、人的対応をしていたのか。もし、そうしていたのであれば、金銭トラブル等の管理上の問題はなかったのか。

(応募団体)

- ・ないという認識である。所長である私が赴任する前は、そのような問題があったこともあると聞いているが、利用者側の虚偽の申し出が原因だったとのこと。収納した料金に関しては、1時間単位で確認をしているため、何かあってもすぐに確認できるようにしている。

(構成員)

- ・障害者や高齢者の方々へのこれまでの対応実績については、どのようなものがあるか。

(応募団体)

- ・現所長は、少し手話ができ、その対応が大変喜ばれたことがある。その事例をふまえ、研修で、簡単な手話のやり方等の対応を共有している。

(構成員)

- ・有事の際の障害者や高齢者の方々への対応は、どのように考えているか。

(応募団体)

- ・今のマニュアルでは対応できていないかもしれない。しかし、今後は検討し、対応できるようにする。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換。

(構成員)

- ・堅実な管理をしている印象を受けた。これからの5年間で、自主事業の数をこれまでの約2倍増やす提案が出ていたが、その割には、広報活動が充実していないように感じた。そこがうまくいかなければ、提案内容の自主事業の実現は難しいように感じた。

(構成員)

- ・施設が古く、難しい部分もあると思うが、しっかり施設の管理をやっているように感じた。しかし、プレゼンテーションを聞く限り、熱意や意気込み等があまり伝わってこなかった。

(構成員)

- ・西部ガス興商と富士メンテサービスとの格差を感じた。富士メンテサービスの代表者は、自分の会社の内情を熟知していないような印象であり、プレゼンテーションにおいても答えに詰まる場面があった。また、緊張感も感じられなかった。西部ガス興商の財務内容は申し分なかったが、富士メンテサービスに関しては脆弱な状態であるように感じた。なぜ、このような企業格差のある中で、共同事業体を組むことになったのかが不思議である。

(構成員)

- ・自主事業に関して、十分練られていないのではと思うような内容のものもあった。しかし、今までの実績を考慮すれば、地味ではあるものの、手堅い提案であった。

(構成員)

- ・ビジネスライクな印象を受けた。自主事業に力を入れて提案していたのはよかったが、地域の団体とのかかわりが薄いように感じた。直営施設と指定管理施設との差別化を図ると

いう意味で、地域の方々も事業に参画できるような隙間や枠を残し、地域に根差していこうという熱意を見せて欲しかった。

●応募団体（九州林産株式会社）との質疑応答。

（構成員）

- ・自主事業を無料でおこなうというのは、どのような意図があつてのことか。

（応募団体）

- ・スポーツ振興を図るという目的である。参加しやすさという観点から、無料が良いと考えている。

（構成員）

- ・無料であることが原因となつて、逆に、イベントに緊張感がなくなってしまう等、無料にすることによる問題は何かないか。

（応募団体）

- ・実際に運営しているスポーツ施設で、同様の事業を実施しているが、その施設では、そのような問題は発生していない。そのため、無料にした場合、特に問題は発生しないという認識でいる。また、実際の事業に関しても、大変盛り上がりしており、参加者数を制限しなければならないような状態になっているという話を聞いている。

（構成員）

- ・花市場という提案は、面白いと思った。苗を原価販売する理由は何か。また、人員体制について、このような施設の場合、施設長の目配り、気配りが非常に大切になると思うが、もし選定された場合の施設長候補に目処はついているのか。

（応募団体）

- ・花市場に関しては、我々が、苗を原価販売することによって、施設の近くにある平田ナーセリーとトラブルになると困るので、調整は必要と考えている。また、なぜ、このようなことをするのかというと、花を通じた、新たな利用者の確保を目指しているためである。施設長については、社内の人事に関する事なので、明確には断言はできないが、この人という目途はつけている。

（構成員）

- ・自主事業で色々なスポーツ教室やバランススクーター等を始めるということだが、具体的に、それらの事業の主催者は誰なのか。恐らく、業務委託をする流れになると思うが、関連企業等の団体は、どのくらいいるのか。

（応募団体）

- ・具体的な事業の運営方法は、これからの構築になると思っている。私は、8年4か月程、北九州に住んでいたこともあり、色々なコネクションを持っている。そのコネクション等をうまく活用し、実現していきたいと考えている。

（構成員）

- ・バランススクーターという提案に関して、実施実績はあるのか。

（応募団体）

- ・バランススクーターは全く新しい提案であるため、実施実績はない。

(構成員)

- ・この提案書類は誰が作成したのか。

(応募団体)

- ・私どもで作成した。

(構成員)

- ・検討会に参加している企業の中で一番見やすく、分かりやすい。それが、現場の仕事にも影響すると感じた。

(構成員)

- ・類似施設の管理運営について、プールの管理実績は、福岡県営筑豊緑地しか見当たらない。この施設に関しても、4社JV体制で受注しているとのことだが、プールを独自で管理運営をした実績はあるか。また、バランススクーターについて、非常に面白い提案だと思ったが、この利用料収入の見込みが、200万円を超えており、この場合であれば、4,000人以上が利用しなければ達成できないような金額となっているが、この積算根拠はどのようなものか。

(応募団体)

- ・福岡県営筑豊緑地は、JV体制で運営しており、プールの運営については、スイミングスクール専門の企業がいて、我々は、その企業をサポートするという立場でいる運営に携わっている。現在、補助的に様々な所をサポートしているので、ある程度のノウハウは構築できてきているという認識でいる。次に、積算根拠について。バランススクーターを6台稼働させて、1日に11人乗れるという設定で積算している。土日のみピックアップして月8日間、それを9ヶ月実施し、あとは、稼働率や天候等を考慮し、約4,000人という数字にしている。

(構成員)

- ・施設周辺でのイルミネーションやミストシャワー等、スポーツとは違った提案内容を通じた、利用者数を増やそうという姿勢に大変好感が持てる。しかし、イルミネーションやミストシャワーを使用した場合、諸経費が必要になると思うが、その点については、どのように考えているのか。

(応募団体)

- ・実際に、私どもが運営している施設で両方とも実施しているが、電気料金等の運用に必要な諸経費は、多少増加する程度なので、特に問題にはならないと考えている。

(構成員)

- ・SNS、特にInstagramでのインスタ映えという言葉も流行っており、流行にうまく乗ることができれば良いと感じた。

(応募団体)

- ・ただ、大規模なものは少し難しいように感じているので、徐々に増やしていきたい。

(構成員)

- ・施設利用に関して、専用利用のキャンセルがあった場合はどのような対応をされるのか。

(応募団体)

- ・キャンセルが発生した際、文化記念公園庭球場については、運営委員会が運営しているので、そこコミュニケーションを取りながら、テニススクール教室等を実施している団体に声掛けをしてもらう等の対応を考えている。庭球場の利用に関して、できる限り、空き

を作らないような利用の方法を考えていきたい。

(構成員)

- ・ 現行の指定管理者のスタッフについて、基本的に受け入れを検討するということだが、例えば、現行の方が次年度以降、働きたくないとの意向を示した場合、必要なスタッフ等を確保できる見込みはあるのか。

(応募団体)

- ・ できれば、現行のスタッフに残ってもらい、今までのノウハウも含めながらのスムーズな運営ができればよいと考えている。また、もし、残ってもらえなかった場合でも人材確保の見込みはある。

(構成員)

- ・ もし残らない場合であっても、問題なく運営はできると考えているか。

(応募団体)

- ・ 問題なく、運営できると考えている。

(構成員)

- ・ 満足度の提案目標が 85%で、市の最低要求水準となる目標は 80%。提案数値が少しの低いと思う。結局、100 人の内に 15 人が不満を表すということになる。

(応募団体)

- ・ 数値目標の設定については、北九州市が、設けている 80%という最低要求水準を少なくともクリアしなければならない一方で、実際に管理したことがない施設ということもあり、目標数値を 85%で設定した。実際、私どもが管理している他施設では、非常に高い評価をもらっている。このことから、私どもとしても、85%という数値は、少し低いと考えていた。

(構成員)

- ・ 現在、指定している指定管理者の満足度の平均値が、概ね 90 数%という認識でいる。それと比べると、10%ほど低いため、気になる。

(応募団体)

- ・ 低いと思うが、常に満足度を高められるよう頑張っていく。

(構成員)

- ・ プール運営に関して、今の時点では直接的な実績はなく、JV の中でノウハウを蓄積しているという話だった。人命に関わる非常に重要な仕事、特に、受付や監視員の方について、どのような配置をし、また、どのような責任体制で運営していく予定か。また、資格等についてはどのように考えているのか。

(応募団体)

- ・ 監視員につきましては、資格というよりは、経験者ということで、私共のスタッフや大学の水泳関係者のパート等を配置する予定で考えている。

(構成員)

- ・ プールの運営は、再委託ということではなく、直営で実施するということでのよろしいか。

(応募団体)

- ・ そのとおりである。

(構成員)

- ・現行の文化記念公園内施設について、閑散期の利用が問題だという認識の他に、現在の施設の課題あるいは、特徴をどのように捉えているか。

(応募団体)

- ・まず、プールエリアが冬場全く活用されないと捉えていて、冬場使わないというのがもったいないという印象を受けた。そのため、今回、バランススクーターを提案した。これを実施することで集客数の増加、特に、利用者の少ない冬場の利用者数が多少なりとも増えるのではないかと考えている。

(構成員)

- ・人員の配置について、担当業務内容は書いてあるものの、能力、資格等の記載がない。どのような方々を配置する予定か。

(応募団体)

- ・施設長については、施設の運営経験者を配置するように考えている。能力、資格等については、提案書記載の資格一覧表のとおりで、今、私どもで考えている者は、一級の造園施工管理技士等を持っており、遊具の点検や講師の防火管理等の講習も受けている。安全に関することであれば、安全衛生統括責任者の講習や安全衛生責任者等教育も受けている。また、危険物取扱者の資格も取得しており、定期安全講習も修了している。プール衛生管理者講習については、持ってないので早急に取得するように準備したい。

(構成員)

- ・経験年数が記入されていないが、経験人数はどの程度ある方を配置する予定なのか。

(応募団体)

- ・経験年数は、今、施設長として配置する予定の者については、指定管理を引き受けることになった平成 20 年から指定管理業務に携わっているので、10 年ということになる。

(構成員)

- ・年間の賃金について、金銭的に適正だと考えているのか。

(応募団体)

- ・年間の賃金については、管理している別の施設で働いている方を参考にシミュレーションし、金額を算出している。年間の賃金が変わる可能性はあると考えている。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換。

(構成員)

- ・プール周りの場所を有効利用するという提案は、非常に面白く、良い提案であると感じた。これが実現すれば、非常に面白いただろうと思った。しかし、その一方で、公園に関する管理実績はあるが、プール単体で見た時の管理実績が少ないことが心配になった。

(構成員)

- ・プール運営での心配点はあるが、単に文化記念公園だけにとどまらず、周辺施設にも視野を向けて、トレッキングやノルディックウォーキング等の自主事業を展開することも検討していたので、説得力があった。年齢を問わず、色々な年代の方が関心を持ちそうな提案が多く、また、その提案内容も自社の得意分野を生かした提案という点で、感心した。

(構成員)

- ・財務内容やプレゼンの発表者の性格、人間性を見ると、管理を安心して任せられる状況であると感じた。

(構成員)

- ・提案も非常に意欲的で、また、期待のできる提案であり、非常に安定した組織であると感じた。一方で、プールに関して管理実績がなく、また、現行の体制面でプール運営の経験者を確保しきれていない印象を私は持った。

(構成員)

- ・やはり、プールの管理実績が少ない点は、気になった。最初は、他の提案団体との比較という視点で提案を聞いており、他の提案団体は、プールの管理や節水の話をしていたので、発想がプールに行き、不安を感じた。しかし、公園全体を考えた時に、使っていない時間の有効利用や公園を中心とした街を楽しもうという提案が、提案団体のテーマとあっていて、すごく良い公園になると感じた。

●構成員全員で意見交換

(構成員)

- ・文化記念公園 S・F 共同事業体は、西部ガス興商と富士メンテサービスとの格差を感じる。富士メンテサービスは、代表者自身が自分の会社の内容を理解していない。企業が設立してから 53 年たっているにもかかわらず、内部留保があれだけ少ない状態という点が気になる。

(構成員)

- ・九州林産の提案は、大変良かった。特に、バランススクーター等の提案は、施設の有効利用という観点からも、素晴らしい提案であったと思う。

(構成員)

- ・両者を比較した際に、温度差のようなもの感じた。特に、文化記念公園 S・F 共同事業体のプレゼンテーションは、何か訴えてくるものがなかったように思えた。また、施設運営に関するビジョンについての説得力も、文化記念公園 S・F 共同事業体よりも九州林産の方があのように感じた。九州林産の提案資料の見やすさは、施設の運営にも反映するのではないかという気がする。

5 検討会としての検討結果について

各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての各審査項目の評価レベルを、下記のとおり、決定した。

1 指定管理者としての適性のうち、

(1) 施設の管理運営に関する理念、基本方針について

文化記念公園 S・F 共同事業体は、3

九州林産株式会社は、4

(2) 安定的な人的基盤や財政基盤について

文化記念公園 S・F 共同事業体は、4

九州林産株式会社は、4

(3) 実績や経験などについて

文化記念公園 S・F 共同事業体は、4

九州林産株式会社は、4

2 管理運営計画の適確性に関する有効性のうち、

(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組みについて

文化記念公園 S・F 共同事業体は、4

九州林産株式会社は、4

(2) 利用者の満足度について

文化記念公園 S・F 共同事業体は、3

九州林産株式会社は、4

効率性のうち、

(3) 指定管理業務に係る経費について

文化記念公園 S・F 共同事業体は、4

九州林産株式会社は、4

(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性について

文化記念公園 S・F 共同事業体は、3

九州林産株式会社は、4

適正性のうち、

(5) 管理運営体制などについて

文化記念公園 S・F 共同事業体は、4

九州林産株式会社は、3

(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制などについて

文化記念公園 S・F 共同事業体は、3

九州林産株式会社は、3

・検討会として、九州林産株式会社は、公園全体への目配りが感じられ、また、前向きな提案が行われているという点で優れていると判断。しかし、懸念事項として、プールの運営実績がない点がある。一方、文化記念公園 S・F 共同事業体は、運営企業の安定性やバランスに関して若干、懸念があるという意見。これらの意見をふまえ、検討会として点数を算出した結果、懸念事項はあるものの、それを上回るメリットを持っている九州林産株式会社の方が次期指定管理者としての適格性を有していると考えます。

・付帯意見について。まず、プール運営の人員について、経験のある人を必ず確保すること。実績がない企業なので、そこは強く求めたい。

・現指定管理者の評価は、B 評価だったと思う。B 評価というのは、なかなか出にくい評価なので、新しく指定管理者となる九州林産は、前任者を超えるくらいの満足度を設定してほしい。具体的に、先ほど満足度 85%で、数値的に低いという意見も出たので、その意見をふまえ、前任者を上回るような目標設定をしてほしい。